

岡崎のまちづくり情報をお届けします!

りた便り

Vol. 38

NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 機関紙〔2009年11月1日〕

特集:愛フェス 2009



11月から、新しい2つの事業が動き始めます。

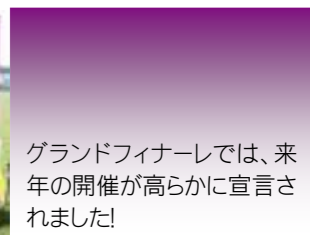
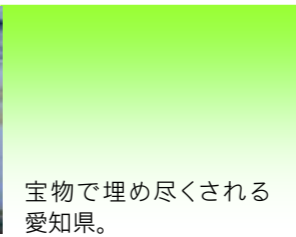
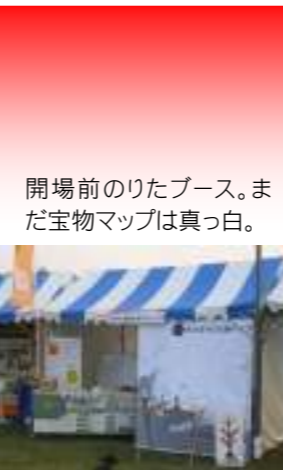
「市民活動団体データベース化業務」

これは岡崎市（市民協働推進課）からの委託業務として進めるもので「市民公益活動報告書のデータベース作成」「市民活動団体ガイドブックのデータベース作成」「メールマガジン、メーリングリストに関するニーズ調査」の3つの成果を目指します（国の緊急雇用対策費を活用して実施する都合により新規スタッフも雇用します）。

「東岡崎駅にぎわい広場計画ワークショップ」

これも岡崎市（東岡崎藤川地区整備課）が進める広場計画（現在の北側タクシーベイ周辺に整備予定。名鉄東岡崎駅の駅舎建て替えに連動して、市が広場整備を検討中）について、地域と行政の対話をコーディネートする業務です（この業務は、地元建築事務所の千里設計と協働で実施します）。

いずれの業務も「岡崎市の市民活動団体の支援をどうすべきか」「岡崎市の顔となる東岡崎駅周辺の整備はどうあるべきか」という、岡崎のまちづくりを語る上で欠かせない重要な事業と考え、積極的な姿勢で事業実施をしたいと考えています。



愛フェス 2009 とは？

「NPO で働いてる？ ボランティアじゃないの??」
「NPO ってよく聞くけど、何やってるかわからない」
こんな言葉をよく耳にします。前号の冒頭でも触れましたが、NPO 法(特定非営利活動促進法)ができて 11 年が経ち、NPO という言葉は浸透してきましたが、その実態を正しく理解している人はまだまだ少ないのが実状です。「愛フェス 2009」は、まさに暮らす人々が NPO の存在をより身近に感じ、具体的にどんなことをやっているか知ってもらうために、またその活動に共感した NPO の応援をしてもらえる接点を作るために、NPO 愛知ネットの天野竹之理事長の発案により企画されました。そして「日本発、愛知発のファンドレイジングイベント」と銘打たれた記念すべき第1回愛フェスが、2009 年 9 月 5 日(土)、6 日(日)、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で実現しました。

ファンドレイジングとは？

ファンドレイジングとはずばり、「資金調達」を意味します。愛フェスでは、64 の NPO 法人、市民活動団体などが出展するテントブースが集まる「NPO 村」において、各団体が来場者に直接活動を PR し、来場者は入場券(500 円)の半券を共感した団体に寄付

投票することで、その入場料が投票数に応じて各団体に分配されるという新しい資金調達の仕組みづくりが目指されました。

これまでも NPO 村のようなイベントはありましたが、それらの多くは NPO のみの参加で、見本市のようなものになりがちであり、NPO に関心のない人にとっては魅力に乏しいものでした。より多くの資金を得るためには、より多くの人を呼び込まなければなりません。そこで今年の愛フェスでは NPO 村のほかにも、メインステージでは、趣旨に賛同した地元のアーティストがイベントを盛り上げ、フードエリアでは障がい者福祉団体や県内屈指の B 級グルメの屋台が軒を連ねるなど、NPO に関心の薄い人でも足を運べるよう配慮し、その結果 2 日間で 14,500 人の集客に繋がりました。

りたと愛フェスの関わり

愛フェスを開催するにあたり、NPO 村の運営を検討するため、今年の 2 月に「愛フェス NPO 部会」が立ち上がりました。NPO 部会には、愛知県下の名だたる中間支援組織が名を連ね、各地の NPO の実情を踏まえた企画の考案や、それぞれのネットワークを活かした愛フェス出展団体への声かけなどを精力的に行ってきました。りたもその一員として、出展団体の主体者意識の向上や共感を育むためのファシ

愛フェス 2009

日本初、愛知発のファンドレイジングイベント

リテーション、ワークショップのノウハウ提供などを行い、愛フェスの成功に尽力しました。

その成果として、県内の中間支援組織間との強い絆をつくることができ、すでに事業協働や情報交流などの波及効果が生まれています。こうした繋がりは、さらなる地域間協働や NPO 業界発の政策提言などを通じ、今後の愛知を動かす原動力として大きなうねりとなっていくことでしょう。

りたの活動を知ってもらうために

愛フェス来場者に NPO の活動内容を知ってもらうための方法は、テントブースでの PR と会場 2 箇所に設置されたオーロラビジョンで放映される 1 分間 CM の 2 つです。りたブースでは、一人ひとりができるまちづくりの第一歩として、「自分のまちを知り、大切にしたいまちの要素を認識すること」の啓発をするため、私のまちの宝物を記入したカードを、1.8m 四方の愛知県の地図上に貼ってもらい、「私のまちの宝物マップ」づくりをしました。一方的な活動の PR ではなく、りたが得意とする市民参加型のしかけが来場者との接点を生み出し、2 日合わせて、地図を埋め尽くす 150 個の宝物を“発掘”することができました。また、愛フェスに合わせて、「りたブックレット Vol.2～まちづくり NPO と公共施設の指定管理～」を発行、販売し、りたが運営を担う岡崎市地域交流センターの指

定管理業務を通じて生まれた 4 年分の成果を PR を行いました。CM は「あなたにとってりたとは？」をテーマに、スタッフや馴染みの深い方々に出演してもらうことで、みんなで作った一体感が生まれ、りたを支える多彩な顔ぶれと多様なりたの像が多少なりとも伝えられたかと思います。

愛フェスの成果と効果

愛フェス 2009 での、りたの獲得金額は 40,476 円でした(投票してくれた方々の志に応えるためにも、“志金”の用途は後にご報告させていただきます。お楽しみに!)。金額だけ見れば、当初の目的に遠く及ばなかったものの、ファンドレイジングという仕組みを通じて、お金には代えがたいかけがえのない絆が生まれたのが何よりも成果だったと実感しています。それは愛フェス実施まで一丸となって知恵を絞った仲間であり、たまたまブースを訪れて共感してくれた人であり、グランドフィナーレで来年の開催を誓い合った全ての人たちとの出会いでした。

先日(10 月 16 日)行われた愛フェス振り返り会では、より実りの多い今後の愛フェスに向けてたくさんの熱い想いが交わされました。愛フェス 2009 は終わったばかりですが、5 年先、10 年先のよりよい社会の実現を目指す愛フェスは始まったところなのです。

愛フェスフォトスナップ



りたブックレット
好評発売中! 500円

おススメイベント情報

一見の価値あり！ぜひご参加下さい！

① 『りぶらフォーラムⅣ』

日時: 11月23日(月・祝) 13:30-16:30
 場所: りぶらホール
 主催: りぶらサポータークラブ
 内容: 2月に開催する「りぶらまつり」について話し合います。

② 『東岡崎駅にぎわい広場ワークショップ 第2回』

日時: 11月29日(日) 13:30-16:30
 場所: 明德保育園
 主催: 岡崎市東岡崎藤川地区整備課
 内容: にぎわい広場計画をみんなで考えます。



地域交流センター利用者数 9月

単位:人

	交流スペース	活動室 (ホール・調理室含む)	プレイルーム
なごみん (北部)	816	3,634	1,457
よりなん (南部)	1,517	4,466	2,210
やはぎかん (西部)	2,538	4,387	1,209

NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 会員募集中



団体会員 (年会費 10,000円)

個人会員 (年会費 3,000円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局
です

冬の足音が近づいてきました。
 高い空にはいわし雲が広がって、
 今にも吐く息が白くなりそうです。

専門家派遣

まち育ての現場に赴きます。

① 『愛知県地域づくり活動表彰審査会』

日時: 11月5日(木) 14:30-17:00
 場所: 愛知県庁本庁舎3階 第4会議室
 主催: 愛知県地域政策課
 内容: 審査会に審査員を派遣します。

② 『ミニなごやワークショップ3 「まちの成り立ち編」』

日時: 11月8日(日) 13:00-16:00
 場所: なごやキッズステーション
 主催: 名古屋市こども未来課
 内容: 開府400年祭の事業「ミニなごや」を企画検討するワークショップに講師を派遣

③ 『ミニなごやワークショップ4 「まち探検編」』

日時: 11月15日(日) 10:00-16:00
 場所: 名古屋都市センター集合(市内をまち探検)
 主催: 名古屋市こども未来課
 内容: まち探検のコーディネーターを派遣します。

④ 『有松まちづくり憲章検討会第2回』

日時: 11月22日(日) 9:00-12:00
 場所: 有松絞り会館
 主催: 有松まちづくりプロジェクト
 内容: 有松の魅力再発見をするまち探検にコーディネーターを派遣します。

⑤ 『りた理事会』

日時: 11月26日(木) 10:00-12:00
 場所: りぶら301会議室
 主催: りた事務局
 内容: 新規事業の報告、りたの中間決算、について協議します。

⑥ 『春日井市カエル65大学第4回 「青年会議所とまちづくり」』

日時: 11月28日(土) 14:00-16:30
 場所: 春日井市市民活動支援センター
 主催: 春日井市市民活動支援センター
 内容: 市民協働まちづくりを学ぶ講座に講師派遣をします。

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
 図書館交流プラザ(Libra)2階 市民活動センター
 NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた
 ☎(0564)23-2888 Fax(0564)23-2898

『財団法人アサヒビール 芸術文化財団助成募集』

支援元:財団法人アサヒビール芸術文化財団

応募資格:

優れた芸術活動及び、これを推進する団体機関

支援対象:

- (1) 芸術活動助成部門
- (2) 芸術文化 NPO、芸術文化機関、
及び芸術文化施設助成部門
- (3) 芸術家等交流事業助成部門

受付締切:2009 年 11 月 6 日

詳細:

<http://www.asahibeer.co.jp/csr/philanthropy/ab-art/boshu.html>

『平成 22 年度(第 16 回) 麒麟福祉財団公募事業』

支援元:財団法人麒麟福祉財団

応募資格:

・地域での子どもに関わる福祉活動を目的とする民間団体で、4 名以上のメンバーが中心となって活動する団体・グループ(法人格の有無は不問)

支援対象:

地域における子育てに係わるボランティア活動

受付締切:2009 年 11 月 9 日

詳細:<http://www.kirinco.jp/foundation/kubo2010/index.html>

『トヨタ財団 2009 年度地域社会プログラム 「地域に根ざした仕組みづくり— 自立と共生の新たな地域社会をめざして」』

支援元:財団法人トヨタ財団

応募資格:プロジェクト・チーム

支援対象:

地域が主体となって課題を解決する「仕組み」の形成に繋がる、持続的な作用・効果の強い、具体的な結果の産出をめざすプロジェクト

- (A)自立をめざす仕組みづくり
- (B)共生をめざす仕組みづくり
- (C)人が育つ仕組みづくり

領域・分野(医療・福祉、教育、まちづくり、文化、環境等)は特に限定せず

受付締切:2009 年 11 月 9 日

詳細:

http://www.toyotafound.or.jp/03entry/csp_katsudo/index.html

『平成 22 年度 「子育て家庭支援団体に対する助成活動」』

支援元:生命保険協会

対象:

就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動を行う民間非営利のボランティアグループ・団体、NPO法人等で、所定の要件(「申請時点で1年以上の活動実績を有し継続して運営している」等)を満たす団体。

※NPO法人以外の法人格を有する団体は対象外。

日本国内における就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動(従来からの継続活動でも新規活動でも構いません)

申込受付期間:11 月 13 日(金)<当日消印有効>

詳細:<http://www.seiho.or.jp/>

『アサヒ・アート・フェスティバル 2010』

支援元:アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会

応募資格:アート NPO およびこれに準ずる任意団体

支援対象:

- ・地域資源(自然環境/建物・町並み/歴史など)を再発見し、その魅力を引き出すとともに、新たな価値を創造し付与するようなアートプロジェクト
- ・アートと市民が出会う機会を拡大し、アートに対する市民の認識を革新するもの
- ・ジャンルを問わず、新しい表現や手法、参加のあり方を創り出すもの。および従来の芸術ジャンルを横断し、超えようとするもの

受付締切:2009 年 11 月 17 日

詳細:<http://www.asahi-artfes.net/>



『青少年育成に関する NPO 助成事業』

支援元: JT (日本たばこ産業株式会社)

応募資格: 非営利法人であること、等

支援対象:

地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業

受付締切: 2009 年 11 月 20 日

詳細:

<http://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/index.html>

『2009 (H21) 年度 「連合・愛のキャンパ」』

支援元: 財団法人さわやか福祉財団

応募資格:

市民互助型・草の根型市民団体/グループに限定

支援対象:

新たに始める、地域における「ふれあい・助け合い活動」

受付締切: 2009 年 11 月 20 日

詳細: <http://www.sawayakazaidan.or.jp/>

『Panasonic 共生社会基金』

支援元: Panasonic、財団法人大阪コミュニティ財団

応募資格: 法人格の有無は不問

支援対象:

海外の貧困問題、国内外の難民問題、在住外国人問題等の社会啓発

受付締切: 2009 年 11 月 20 日

詳細:

http://www.osaka-community.or.jp/contents/grant/grant_guide.htm



『平成 22 年度 年賀寄附金及びカーボンオフセット 年賀寄附金配分団体の公募』

支援元: 財団法人河川環境管理財団

応募資格:

・調査、試験、研究部門/大学、高等専門学校等、地方公共団体、NPO 等各種法人、任意団体などに所属する研究者及び機関(個人による申請は助成対象外)

・環境整備対策部門及び国民的啓発運動部門/地方公共団体、NPO 等各種法人、小中高等学校、任意団体

支援対象:

河川整備基金の運用益によって、安全で良好な“河川環境”を目指して、より良い川づくりに役立つ活動

受付締切: 2009 年 11 月 30 日

詳細: <http://www.kasen.or.jp/joseiboshu22/h22.htm>

『平成 22 年度河川整備基金助成事業』

支援元: 財団法人河川環境管理財団

応募資格:

・調査、試験、研究部門/大学・高等専門学校等、地方公共団体、NPO 等各種法人、任意団体などに所属する研究者及び機関(個人による申請は助成対象外)

・環境整備対策部門及び国民的啓発運動部門/地方公共団体、NPO 等各種法人、小中高等学校、任意団体

支援対象:

河川整備基金の運用益によって、安全で良好な“河川環境”を目指して、より良い川づくりに役立つ活動

受付締切: 2009 年 11 月 30 日

詳細: <http://www.kasen.or.jp/joseiboshu22/h22.htm>

【発行】

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
図書館交流プラザ (Libra) 2階 市民活動センター
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた
☎(0564)23-2888 Fax(0564)23-2898